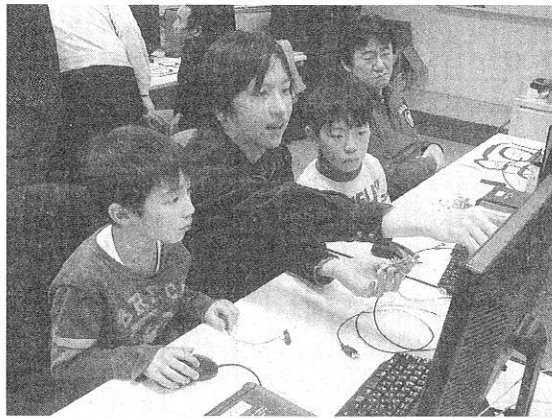


プログラムにチャレンジ

有明高専 ものづくり教室に10人



有明工業高等専門学校電子情報工学科は、恒例のエレクトロニクス・ものづくり体験教室を開催。大牟田市、荒尾市などの小学生、中学生十人が参加し、ライントレ

ーサーをつくった。ライントレサーは、コース上のラインを読み取り、走行する。体験教室ではラインを読み取るコンピュータのプログラム入力を、学生たちが参加者に

教えた。今回は電子情報通信学会九州支部も共催している。講師をつとめた学生たちのまとめ役だった、五年生の古賀圭祐さんは「児童、生徒の皆さんにどうやったら、より分かりやすく理解してもらえるか、放課後に残って研究しました。コンピュータプログラムに興味を持ってもらえれば」と話した。

日刊大牟田

2012年12月11日(火曜日)

1面



古賀圭祐さん 有明高専電子情報工学科五年生

恒例のエレクトロニクス・ものづくり体験教室を開催し、学校近隣の小学生から中学生まで十人にコ

ものづくりサロン

残つて、どのように教えたから子どもたちに分かりやすいか、より理解してもらえるか、講義の練習をしました。教室を通して電子情

ース上のラインを認識し、走行するライントレサーをつくってもらいました。講師役の学生で放課後、い、将来、私たちの後輩に